

2017 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2018 年度分)

<p>団体名</p>	<p>大東市立大東中学校</p>		
			
			

本校では7年前より「DAITO AED PROJECT」と称し、「学校で生活するすべての人がAEDを使うことができ、人を救うことができる勇気と力を持つ」ことを目的に活動している。取り組みの初年度は全校生徒を対象に応急手当訓練（胸骨圧迫及びAED）を実施し、翌年からは、新入生全員に応急手当訓練を実施している。その取り組みは保健委員が中心となり、応急手当訓練では、サブリーダーとして実習の手本や実習補助を行ったり、集会では、「DAITO AED PROJECTの歌（歌詞が応急手当の流れになっている）」を歌い、全校生徒の復習の機会としている。歌は、覚えやすく、それぞれが口ずさむことによって、自主的な復習となっている。実習終了後も、生徒が自ら歌う様子も見られている。

また、生徒保健委員とPTA保健委員が中心となって、中学校区の地域教育協議会主催のふれあいまつり（来場者約500名）の中で、地域住民を対象に「AED訓練ブース」を設置し、①胸骨圧迫コース②AEDコース③ビニールバッグで応急手当コース④三角巾コースの講習を実施した。来場者には、消防署、大東四条暁医師会より協力を得て、応急手当に関する資料を配布したり、スタンプカードを作成し、受講者には、受講スタンプを押すなどして、達成感を味わいながら、取り組めるよう工夫した。小学生以下から大人までの参加者に対し、生徒保健委員が丁寧に教える様子が見られた。人に教えることで、生徒保健委員も伝え方や実技の技術が向上し、自信につながった様子が見られた。